



おひさまだより

ゆいの杜こども園 R5. 春号

風が心地よいさわやかな季節です。未就園児の交流の場である「おひさまひろば」は、今年度から、園庭開放に加え、「ひろば」として再開しました。毎月第2火曜日(10時から11時)です。地域の未就園の親子のみなさんに、地域のおそび場として利用していただけるようお待ちしております。

さて、本園では新しい環境に慣れてきた子どもたちが、園庭や散歩などでいろんな発見を楽しんでいます。園庭で、のびのびと遊具で遊んだり、色水あそび、砂あそびをしたり…。また、散歩に出かけては、草花や虫を見つけたり…等、この時期ならではの遊びを楽しんでいます。

今回は、子どもたちが大好きな「おさんぽ」についてご紹介します。忙しい毎日ではありますが、少しの時間で十分です。親子で「おさんぽ」を楽しみませんか？きっと、キラキラの笑顔に出会えますよ。



◎散歩が大好きな子どもたち。お天気の良い日は、近くの田んぼ道を散歩しながら、草花や、いろんな生き物との出会いを楽しんでいます。見て、触って、聞いて…等、五感で楽しめます。自然との触れ合いは、子どもの育ちに大きく影響します。形、色、大きさ、手触り…等、その違いに気付いたりします。だから「おさんぽ」は、おもしろい！楽しい！不思議いっぱい！



◎牛乳パックで「おさんぽバック」を作りました。見つけた草花などを入れるためです。帰りには色とりどりの花や葉、木の実…など季節のお土産でいっぱいになります。園の周りには、いくつかの「おさんぽコース」があります。神社や公園を目指し目的地まで歩くコースも楽しいですが、ゆったりと周りをながめながらの、目的地なしのコースも散歩の醍醐味。いろんな初めてとの出会いの場でもあります。田んぼの中をじーっと見たり、空を見上げて雲や鳥を見たり、道端の小石にも目がとまります。



「あの雲、かいじゅうみたい」「あれはライオンや」などと、みんなの発想や想像力にはいつもびっくり！

◎散歩に行くと、草花などのお土産を手にいっぱいにして帰ってくる子どもたち。花の名前がわからないときは、帰ってから図鑑で調べたり、先生に名前を聞いたり…と探求心いっぱいの子どもたちです。あぜ道などを歩くことで育つバランス感覚などの体の育ちだけでなく、飾ったり製作したり…と次の遊びや活動につなぐことができ、心身の育ちに最適です。



持ち帰った草花を紙に貼って飾ってもカワイイ！

※ 「おひさまひろば」は、毎月第2火曜日 (10:00~11:00)です。(事前予約必要)

※ 子育てや園に関するご相談は、随時受け付けています。先ずはお気軽にお電話ください。

ゆいの杜こども園(0748-23-2222)